

昭和46年度下半期

豊島区公告第15号

東京都豊島区財政状況の公表に関する条例の定めるところにより本区財政状況を次のとおり公表いたします。

昭和47年7月5日

東京都豊島区長 日比寛道

豊島区財政状況のあらまし

本区の財政状況につきましては毎年2回にわたり区民のみなさんに公表しております。今回は昭和46年10月1日から昭和47年3月31日までの本区の財政状況と昭和47年度当初予算についてその概要をお知らせいたします。

1. 昭和46年度予算の概要

前回の公表でもお知らせいたしましたように「豊かな人間環境の創造」を目標とし、昭和46年10月1日以後一般会計で3億2,192万4千円、特別会計で4,547万5千円を追加しましたので、昭和46年度の最終予算額は次表のようになりました。

会計区分	前回までの公表額	補正予算額	計
一般会計	10,197,343千円	321,924千円	10,519,267千円
公益質屋事業会計	37,285	4,434	41,719
国民健康保険事業会計	2,203,455	41,041	2,244,496
合計	12,438,083	367,399	12,805,482

それでは、一般会計における補正予算の主な内容をご説明いたします。

【補正2号 22,714千円】

豊島区開発公社に対する業務委託料.....15,819千円
国及び都支出金返還金..... 6,895千円

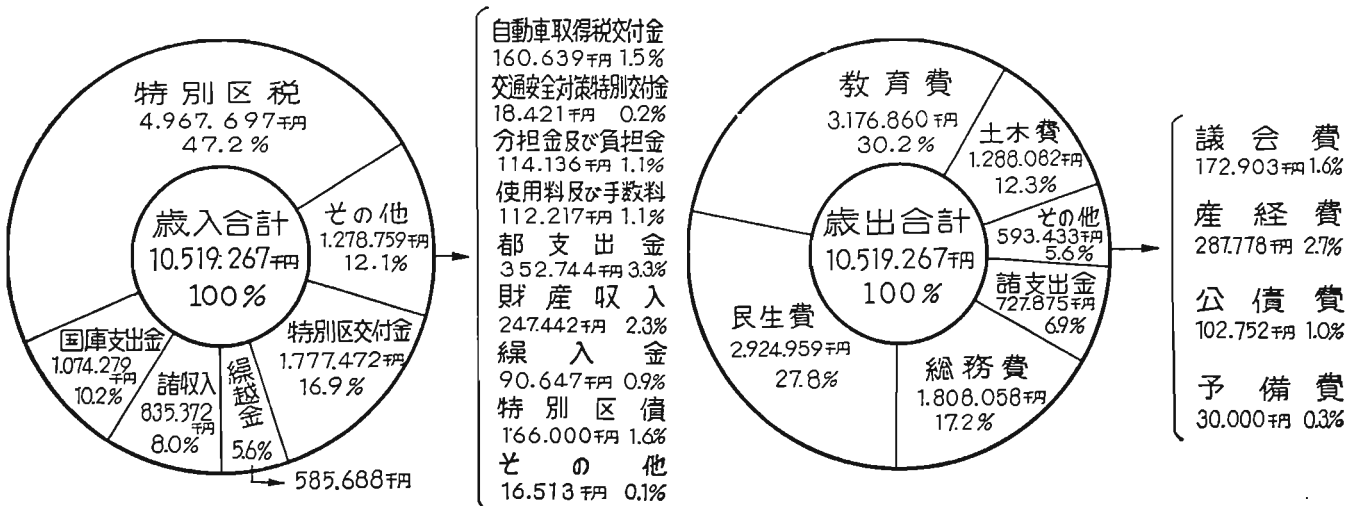
【補正3号 97,244千円】

児童保育委託費追加額.....18,658千円
商工融資事業追加額.....51,230千円
維持作業補助員関係費.....10,490千円
その他.....16,866千円

【補正4号 201,966千円】

職員関係費補正額..... 145,966千円
学校用地買収費.....72,854千円
その他.....△16,854千円

下半期における補正予算の概要は以上のとおりですが、昭和46年度の一般会計最終予算額を構成比別にみますと次のようになります。

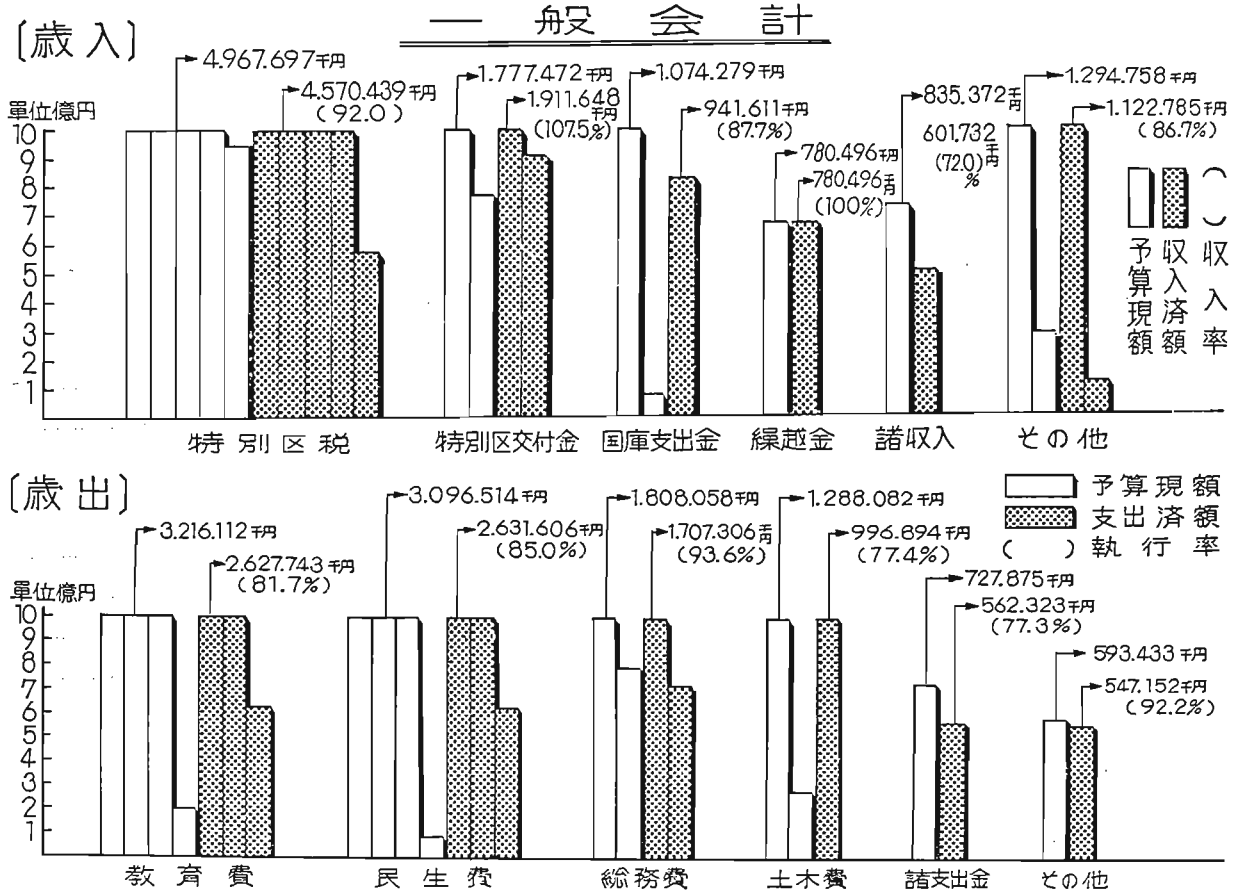


2. 収入・支出の状況

ここでは、昭和46年度の3月31日現在における収入支出の状況をご説明いたします。なおこの数字は、3月31日でおさえていますので5月31日の出納閉鎖までには、かなりの伸びが予想されます。

(1) 一般会計

まず歳入をみますと、107億3,007万4千円の子算現額に対し、収入済額は99億2,871万2千円となっており、92.5%の収入率を示しています。このうち特別区税の収入済額は、半年の同期に比べ8億3,637万2千円の増となっています。また歳出では90億7,302万4千円が執行され84.6%の執行率となっています。これらの状況をグラフにしますと次のようになります。



(2) 特別会計

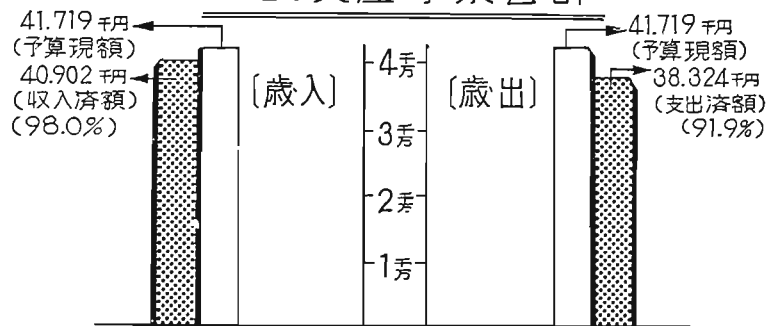
特別会計とは、特定の事業を行なうものについて、一般会計と区分して経理する必要がある場合に、法律または条例に基づいて設けられるもので、本区では質屋会計と国民健康保険会計の2つが設定されております。

今期における両会計の収入支出の状況は次のとおりです。

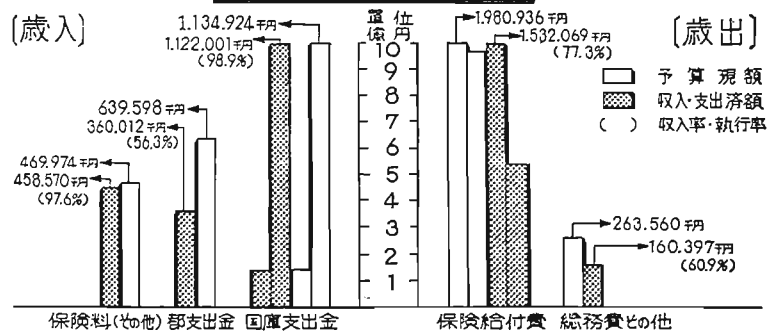


今年の秋完成予定の猫苗代青少年センター

公益質屋事業会計



国民健康保険事業会計



3. 区民負担の状況

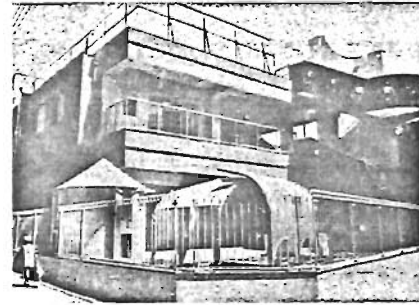
区民のみなさんが直接負担されます特別区民税額（昭和47年3月31日現在）を基礎に1人当たり及び世帯当りの負担額を算出しますと次表のようになります。

(昨年同期と比較)

年 度	区民税現年度調定額	人 口	世 帯	1 人 当 り 負 担 額	1 世 帯 当 り 負 担 額
46	3,585,638千円	321,012人	136,967 世帯	11,170円	26,179円
45	2,817,782	326,223	136,824	8,638	20,594
増(△) 減	767,856	△5,211	143	2,532	5,585

4. 一時借入金の状況

一時借入金とは、一会計年度中に一時的に現金が不足することがあります。これを補うため、実際の現金収入があるまで、市中銀行などから短期間借入れ、収支の均衡を保つための資金のことです。なお議決された借入金の限度額は3億円でしたが昭和47年3月31日現在では借り入れておりません。



区立南池袋体育館

5. 区有財産の状況

区は、事務事業を執行したり区民の利用に供するため、総合庁舎、図書館、公園、区民センター、教育施設等いろいろな財産を有しています。昭和47年3月31日における区有財産の現在高はつぎのとおりです。

種 類	数 量	価 格	摘 要
土 地	486,101.33㎡	7,449,016千円	庁舎、学校、公園等の敷地
建 物	248,745.61㎡	6,853,493	庁舎、学校、公会堂、区民施設等
工 作 物	1,741件	992,113	街路灯等
物 品	303,949点	1,858,461	自動車、事務用器具等
有価証券	417枚	13,288	株式、電話債権等
計		17,166,371	

6. 特別区債の状況

特別区債とは、多額の財源を必要とする児童公園、保育所または体育館等の建設費に充てるため、政府や銀行などから資金を借入れ長期間にわたって返

済する制度のことです。

昭和47年3月31日における特別区債の現在高は次表のとおりです。

目 的	教 育 債	土 木 債	民 生 債	計
借 入 先				
市 中 銀 行	91,900千円	152,000千円	29,400千円	273,300千円
政 府	82,899	—	16,000	98,899
計	174,799	152,000	45,400	372,199

1. 昭和47年度予算の概要

(1) 一般会計

予算額は106億9,897万7千円で昨年と比べ13億2,806万9千円、14.2%の増となっています。それでは五つの重点施策を中心とした、主な内容をご説明いたします。

本年度の予算は、住民福祉の向上を中心とし、区民のみなさんの要望を先取りした区民直結の大型予算となっています。

◇老人福祉増進のための施策

老人福祉センターの開設経費	12,253
老人いこい室の建設費(2カ所)	198,939
ねたきり老人の援護経費	2,050
老人クラブ助成経費	6,143
敬老対策経費	11,181
老人ホーム入所措置費	110,159
老人健康診査経費	13,006

◇心身障害者福祉増進のための施策

心身障害者福祉施設建設費	176,919
さくらの家運営経費	2,796
委託保護費	34,044
盲人及びろうあ者福祉対策費	343
「希望の椅子」製作費	950
「声の広報」発行費	542
「ひかり文庫」運営費	484
精薄児職視委託経費	450

◇児童福祉増進のための施策

保育所建設費(3カ所)	234,367
乳児室の設置運営経費	4,213
零歳児保育充実費	65,264
私立保育所助成経費	12,296
児童措置委託費	160,900
保育所給食食料費	48,873
児童館建設費(2カ所)	88,616
児童遊園新設整備費(3カ所)	136,847
私立幼稚園補助経費	4,500
未認可保育所助成経費	3,459

◇震災予防対策強化のための施策

消火器の地域配備経費	10,700
消火器の家庭配備経費	5,728
防災意識の啓発経費	2,520
防災訓練実施経費	2,193
防災計画策定経費	1,444

備蓄資材購入経費	959
----------	-----

◇社会教育推進のための施策

社会教育会館建設費(2カ所)	311,565
猪苗代青少年センター建設費	52,528
区民体育館建設費	113,684
学校施設開放経費	19,794
社会人スポーツ開放経費	8,079
成人学級拡充経費	1,924
図書館図書等拡充経費	17,326
青少年対策経費	14,018

◇その他の施策

豊島区史の編さん経費	4,674
広報、広聴充実費	18,675
商工融資資金増額経費	254,962
成人病(がん)対策経費	10,048
道路新設改良費	227,720
木造校舎改築経費	886,899

以上が47年度の事務事業の内容ですが、これを款別に前年度と比較しますと、次表のようになります。

昭和47年度一般会計予算対前年度比較表

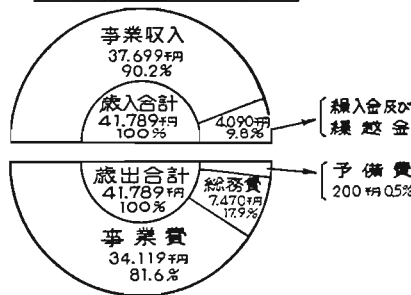
(歳入)

款	47年度		46年度		比較	
	予算額	割合	予算額	割合	増(△)減	伸び
特別区税	5,599,370	52.4%	4,776,934	51.0%	822,436	17.2%
地方譲与税	54,500	0.5%	-	-	54,500	-
自動車取得税交付金	148,270	1.4%	174,748	1.9%	△26,478	15.1%
特別区交付金	2,083,732	19.5%	1,810,811	19.3%	272,941	15.1%
交通安全対策特別交付金	18,421	0.2%	12,716	0.1%	5,705	44.9%
分担金及び負担金	33,933	0.5%	109,825	1.2%	△55,922	50.9%
使用料及び手数料	117,730	1.1%	112,172	1.2%	5,558	5.0%
国庫支出金	1,222,965	11.4%	1,064,111	11.4%	158,854	14.9%
都支出金	333,473	3.1%	333,684	3.5%	△211	0.1%
財産取入	4,056	0.0%	8,307	0.1%	△4,251	51.2%
寄附金	616	0.0%	1	0.0%	615	-
繰越金	53,699	0.5%	105,888	1.1%	△52,189	49.3%
諸収入	898,222	8.4%	772,036	8.2%	126,186	16.3%
特別区債	110,000	1.0%	-	-	110,000	-
繰入金	-	-	89,673	1.0%	△89,673	-
合計	10,698,977	100%	9,370,908	100%	1,328,069	14.2%

(歳出)

款	47年度		46年度		比較	
	予算額	割合	予算額	割合	増(△)減	伸び
議会費	174,637	1.6%	172,309	1.8%	2,348	1.4%
総務費	1,908,862	17.8%	1,692,597	18.1%	216,265	12.8%
民生費	3,566,929	33.3%	2,850,532	30.2%	736,397	26.0%
産業経済費	326,181	3.1%	234,543	2.5%	91,638	39.1%
土木費	1,086,370	10.2%	940,257	10.1%	146,113	15.5%
教育費	3,444,829	32.2%	2,971,713	31.7%	473,116	15.9%
公債費	107,640	1.0%	102,473	1.1%	5,167	5.0%
諸支出金	53,509	0.5%	395,484	4.2%	△342,975	86.5%
予備費	30,000	0.3%	30,000	0.3%	0	-
合計	10,698,977	100%	9,370,908	100%	1,328,069	14.2%

公益質屋事業会計



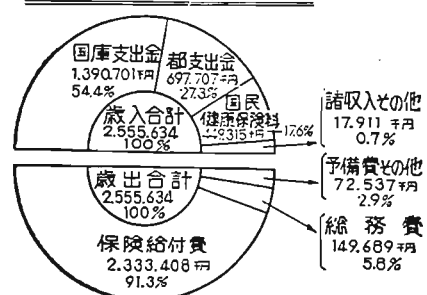
(2) 特別会計

まず公益質屋事業会計の予算額4,178万9千円は前年度に比べ455万4千円の増となっていますが、これは貸付金の増等によるものです。

また国民健康保険事業会計での予算額25億5,563万4千円は、前年度に比べ3億5,331万16.0%の増となっていますが、これは、2月の医療費改訂による診療報酬等の増によるものです。

今年度予算を構成比別にみますと次のようになります。

国民健康保険事業会計



以上によりまして、昭和46年度下半期における財政の現状と昭和47年度予算について、その概要をお知らせいたしました。

今後も、財源の効率的運用を図り、健康で快適な地域社会の建設に鋭意努

力するつもりです。区民のみなさまにはなお一層のご協力をおねがいいたします。